

地域生活報告会 ～こころの医療センター～

7月9日実施された地域生活報告会。コロナ禍の影響で4年ぶりの対面での交流会。

また、中央むつみ会とのコラボ という初めての試みである。

参加者の自己紹介の後、ピアサポーター2名のリカバリーストーリー➡グループワークという運びで行われる。病棟のデイルームで参加希望の患者さんが集まってくれた。あらかじめ病棟にはあすなるの自己紹介シートが掲示してあり、当日開催されることは予告されていた。もし私が入院していたら、「参加してみようかな」と思ったかもしれない。比較的短期間で退院される方が多いということだ。

グループワークの人数はあらかじめ決定してあった訳ではなく、座り方も自由だった。これから月2回地域生活報告会が行われる予定。2つの病棟で交互に行われる。開催時間は45分。退院へ向けて、個別的な支援が必要な人がいれば、地域移行に進むこともあるかもしれない。20分のグループワークの中でピアサポーターの簡単な自己紹介をした方が質問も出やすいかもしれない。これから続けていくためにピアサポーター同士話し合っていきたいと思う。(N)



涼を求めて多田銀銅山へ

イオンモール猪名川近くにある銀山跡で、平安時代から銀や銅が掘られて、豊臣秀吉の時代には大いに栄えたそうです。

坑道のなかを見学できました。なかは20℃ちょっとで涼しい～。トンネルを歩ける非日常感もわくわくします。近くに資料館では坑道見学のヘルメットを無料で貸してくれました。選鉱所跡のレンガ建造物も恰好よかったです。兵庫県の鉱山跡では生野銀山がよく知られていますが、近場で涼しむのも悪くないです。(K)



仏生山温泉サイコ〜

香川県高松市にある、仏生山温泉に行ってきました。美術館みたいな建物。源泉かけ流しの炭酸泉の日帰り温泉でした。

お湯はぬるめで、何時間でも浸かれそうです。ロビーにある古本を温泉の中に持ち込んで読めるらしいです。観葉植物のまわりのウッドデッキと露天風呂。檜の木風呂の内風呂。ぬる湯好きの私には、サイコーでした。(S)



音楽療法士がプロデュースする
非日常の
メモリアルコンサート
Memorial Concert

がん患者とその家族、医療従事者など支える人たちに、心豊かになる音楽の時間を提供したい。
人工的に作られた音ではなく、生演奏こだわって、非日常の経験をも。
そんな音楽療法士の思いをここに。

出演者
フルート 藤本 さくら
バイオリン 宮野 由
クラリネット 島崎 花菜
シンガー 森本 幸織
サクソ 竹中 さちえ
ピアニスト 西野 薫
その他の楽器… 選定中

2024年6月8日(土) 開場 17:30 開演 18:00

ワーキングスペース Go to hero

問い合わせ先 TEL 090-3725-2307 (代表: 西野) Mail info@kaoru-official.net

夕方からのめったにない遠出

「非日常のメモリアルコンサート」6時開演。

音楽療法士さんがプロデュースするコンサートである。大阪城ホールを夜景という形で見る事ができるビルで開催された。夕方から出かけるのもドキドキしたし、日常と違った流れになるのが怖かったのだが、コンサートが終了したとき、「良かった！」と自然に手をたたいている自分がいた。

今回受けた「音楽療法」は、能動的音楽療法—担当する音楽療法士の言葉に合わせて手を動かして運動をするもの、と受動的音楽療法—バイオリン・サクソ・フルート鑑賞&観客からのリクエストのペギー葉山の「南国土佐を後にして」を主宰された音楽療法士さんが即興でエレクトーンの演奏してくれる音を聴く—といった構成。2時間はあっという間であった。終了すると8時過ぎていて夜景を見ながら帰宅するという私の日常にはない日。

音楽という媒体を通してできること、与えられるものを深く感じ、感動した1日になった。『芸術の力』ってすごいな。(N)

『不安をのりこえて!!』

毎回ご案内していますが、ピアサポーターが中心になって作った改訂版『不安をのりこえて』ができています。入手ご希望の方はあすなるまでご連絡ください。(編集部)



雲外蒼天(うんがいそうてん)

毎日暑い日が続きます。人間はもとより畑の野菜たちもぐったりです。通信がお手元に届くころもまだ暑いのではないのでしょうか。畑の野菜たち同様水分が命です。水分補給をしっかりと体調管理を行っていきましょう。今回は新しい試みのこころの医療センターでの地域生活報告会。ピアサポーターの活躍する風景が見えるようでしたね。(F)